

今号のトピックス

● 議会改革進行中

全国の都道府県議会と交流・連携
改革の輪を広げる



第3号

県議会の活動を伝える広報紙

県議会 だより

いしかわ



かきつばた
杜若像

石川県の代表的な伝統芸能のひとつである能の「杜若」の舞い姿を表したものであり、昭和28年、広坂旧県庁舎の議場に設置され、以来、半世紀にわたり論戦を見守ってきました。現在は、議会庁舎1Fのエントランスホールに飾られています。



よりよい石川県に向け 議会改革進行中

全国の都道府県議会と交流・連携 改革の輪を広げる

北陸三県で初の議員研修会を開催

62人の議員が参加

広域観光などを テーマに意見を交換

暮らしやすいふるさとづくりには県内だけでなく、県境を越えた自治体同士が手を組み、取り組んでいくことが不可欠です。そこで、県議会では、全国の都道府県議会と積極的に交流・連携を進め、「議会改革」の輪を広げています。

そのひとつが昨年11月に初めて開催した「北陸三県議会議員研修会」です。同研修会には、北陸三県から62人の県議会議員が参加。「広域観光」をテーマに、流行仕掛け研究所代表の島田始氏を講師に迎え、講演会を実施しました。出版社などで長年、数々の流行を生み出してきた島田氏は「北陸新幹線開業までが勝負」「北陸三県が手を携え、短・中・長期ビジョンを立てることが大切」など、広域観光を成功に導く具体策を訴えました。

さらに、講演会後には意見交換会を

行い、2年後に迫った北陸新幹線金沢開業や県境を越えた広域観光などについて話し合いました。翌日にはコマツ金沢工場を視察し、県内のものづくりの現状や整備が進む金沢港の活用状況などの説明を受けました。参加者は2日間の研修を通して、観光や産業など、さまざまな面で北陸が一層、交流・連携していくことの必要性を確認しました。

議長会議で 共通の課題を審議

また、研修会と並行し、「北陸三県議会議長会議」も開催しました。同会議では、北陸全体にかかわる課題について各県から議案の提出があり、北陸新幹線のフル規格整備や少子化対策の推進などについて、北陸三県が連携して国に要望していくことで一致しました。

県議会では今後も、富山・福井両県議員と定期的に意見交換や研修会を進め、より実のある議会運営や県政への提言などに生かしていきます。

◀ 島田氏の講演に熱心に耳を傾ける参加者

▶ 北陸三県議長会議では共通の課題について議論を深めました



石川の改革状況を発信



▲全国の議員が集まり、活発に意見を交わしました
 ◀改革の状況を説明する木本議員

11人の議員が参加 改革への決意を一層強く

昨年11月には都市センターホテル（東京都千代田区）を会場に、「都道府県議会議員研究交流大会」が開かれ、石川県議会からは11人の議員が参加しました。同交流大会は都道府県議会議員が共通の政策課題に対して意見や情報を交換し、各議会の改革につなげていくとともに、議会間の一層の連携強化を目的に開くもので、今回で12回目の開催となります。

交流大会では、各県議会議員がパネリストとなり、議会運営や住民との連携・協働などをテーマとした分科会を実施し、掘り下げた議論を展開。全国の議会で進められている多彩な改革について発表があり、分科会に参加した各議員はより住民の視点に立った議会運営

に努めていく決意を新たにしました。

予算特別委員会の 常任委員会化を発表

また、「議会の監視機能の強化」と題した第2分科会には、石川県議会の改革推進会議会長である木本利夫議員がパネリストを務めました。

木本議員は、昨年、議会改革として取り組んだ予算特別委員会の常任委員会化について発表しました。これは、2月、9月定例会に合わせて実施していた予算特別委員会を、年4回の各定例会で質疑を行う常任委員会に改めるものです。住民の代表である県議会議員の意見などを県予算に反映する機会が増え、議会の監視機能の強化につながっており、石川県の取り組みが改革の先進事例として大きな注目を集めました。

次回は
2月に定例会を
開催



県議会へ傍聴に来ませんか？

本会議や委員会は、誰でも傍聴できます。傍聴は、本会議や委員会の当日に議会庁舎1階で受け付けています。また、県議会ホームページでは、本会議の様子を中継しています。

詳細はホームページをご覧ください。

石川県議会

検索

お車の方はコチラをご利用ください



委員会 活動REPORT

石川県議会に設けられた常任委員会や特別委員会などでは、県民の皆さんの暮らしにかかわる身近な課題について話し合っています。今号のシリーズ企画「委員会 活動REPORT」では、環境農林建設委員会と商工労働公安委員会を紹介します。

環境農林建設委員会



里山里海をはじめ、さまざまな課題に取り組んでいます

世界農業遺産「能登の里山里海」の活用・保全に取り組む

環境農林建設委員会では、県民生活に密接にかかわる課題を幅広く議論しています。具体的には、農林水産業の振興、道路・河川・港湾・公園などの整備、生活環境・地球環境の保全や循環型社会の形成、自然との共生、競馬事業の振興などが挙げられます。

最近の議論の中心は、一昨年認定を受けた世界農業遺産「能登の里山里海」の活用・保全の取り組み、ルビーロマンや能登牛などの県産農林水産物のブランド化の推進、北陸新幹線の金沢開業を見据えた交流基盤の整備などです。

県民が豊かに安心して暮らせる地域社会の実現のため、さまざまな県民の声が行政に反映されるよう活発に議論しています。



九州大学で風力発電システム「レンズ風車」の説明を受けました

商工労働公安委員会



経済・雇用対策などの議論を展開

雇用対策につながる次世代産業の創出と観光誘客に注力

商工労働公安委員会では、厳しい経済状況が続く中での経済・雇用対策や、北陸新幹線金沢開業を見据えた観光誘客の検討、さらに県民の安全・安心を守る警察行政の充実などを課題に挙げ、その解決に向けた政策について議論を重ねています。

中でも重要課題として、「中小企業に対する経営面・資金面の安心」「離職者・新規学卒者の雇用面の安心確保」「雇用を生む次世代産業の育成への取り組み」「北陸新幹線開業効果を県内全域に波及させるための具体的な方策や海外誘客の取り組み」「犯罪の起きにくい社会づくりの推進」などを検討しています。



福岡県を訪れ、国際会議誘致などについて意見を交わしました

県議会の活動を伝える広報紙

県議会 だより

第3号

編集・発行 / 石川県議会(年4回発行)
平成25年1月31日発行

●お問い合わせ

石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会に教えてください。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp